房総・房州アルプス～三浦三良山・大塚山周回ハイキング

記　Ｔ野

2019年1月6日
メンバー　：　Ｔ野・Ｋ田・Ｉ橋・Ｓ口

雨マークがついていて一度は諦めたが金曜日に予報が変わって晴れマークに！！であればと喜んで計画を復活。日本中にアルプス数々あれど、ルートの最高標高が300mに満たないアルプスであるここは、おそらく最も低いアルプスであろう。さていったいどんなところか？メンバー4人で行ってきました。では報告です。

朝7:30、市川駅集合、快晴だ。と喜んだのもつかの間、現地に近づくにつれ雲が出てきて登山口のある梨沢区公民館に着くと今にも降り出しそうなべた曇り、それに寒い。「これは降るとすれば雨じゃないな、きっと雪だよ雪！！おぉぉーさぶっ！！」

「歩けば体も温まるからとにかく歩こーぜ。」「さあ、どっちへ行けばいいんだ？」房総の山はどこでもそうだが一番の核心はアプローチ方法と入山口の発見である。山に入ってしまえばなんとかなるがしっかり勉強してから行かないと入山すらできないことになる場合もある。とはいえ、最近はＧＰＳもあるので気は楽だＳ口が登録した房州アルプスの地図データーを見て9:15出発。

車道を歩き、まずは鹿原を目指す。ところどころにスイセン畑（っていうか勝手に育っている）があり、車道歩きも楽しい。標高が上がるにつれ景色も良くなり、この辺り今年10月に行った熊野古道の果無集落にちょっと雰囲気が似ている気がする。

鹿原からなおも車道を少し歩くとかわいい道標があって登山道に入る。登山道といっても自転車でも快適に走れそうな非常にいい道だ。やがて志駒愛宕山（225m）に行く分岐があり、山頂に神社があるようなので立ち寄ることにする。行ってみると想像以上に立派な神社が突然現れる。訶具都智神社（かぐつちじんじゃ）と読むらしい。神社には年末年始の行事の後片付けをしている地元の人がいた。しっかりお願いして分岐に戻り快適な縦走路を歩いていくと再び景色が開けた岩の上に立つ。「地獄覗き」という場所らしい。この辺りからの景色は非常に山深く幾重にも山並が続き、とても300mにも満たない山とは思えない雰囲気を醸し出している。さらに進むと無実山（267m）房州アルプスの最高峰だ。残念ながら展望もない何の変哲もないピークだ。しかしこのピークも油断して巻き道を歩いてしまうと踏むことなく通過してしまうので注意が必要だ。ちなみに無実山の一つ手前の小ピーク（ここも巻き道があるので注意していないと通り過ぎてしまう。）の方は山頂の展望が良くお奨めだ。

■写真上　アプローチに咲いていた黄色のスイセン。
■写真中　地獄覗きから見た房総の山並。
■写真下　地獄覗きで下を覗く。

さらに歩いていくと辺りは素晴らしい巨木の森、さらにマテバシーの純林となかなか素晴らしい！！まあ、「房総」という場所の割には・・・だがなかなか楽しめるところだ。

そして、深い森を歩いていたかと思うと突然野生化したミカン畑が現れ、車道が現れる。この変化がいかにも「房総」らしい。数人のおじさん自転車集団（我々も立派なおじさんだが・・・）と遭遇して彼らは林道を鴨川の方へ行くらしい。学生時代に自転車部だったＫ田は彼らのニッカボッカファッションに昔を懐かしんでいた。ここで房州アルプスは終了。帰路は「鎌倉古道」と呼ばれる梨沢左俣を挟んで左岸側の稜線を辿る。途中にある三浦三良山（291m）はだだっ広い山頂でルートからも外れて

いるので山頂を見つけるのはオリエンテーリングの技術が必要だ。展望もなく非常に地味なピークだがここが今日のルートの最高標高点だ。

さて、この稜線は、梨沢の右俣と左俣を分かつ尾根でどちらを向いても里が見えず、おそらく「房総」の山の中でも最も奥深さが味わえる稜線だろう。往路で辿った房州アルプスと比べるとコース整備もほとんどされてなく道も踏み跡程度だ。なぜ「鎌倉古道」と呼ばれているかは定かではないが非常に地味で古の道っぽいところがなかなか良い。やがて大塚山（234m）

の分岐。ルートを外れてひと登りすれば山頂に着く。天保の時代に奉られた壊れかけた石仏が数体安置されていた。ここも展望もなく地味な山頂だがイノシシか鹿が突然現れてもなんも不思議のない雰囲気の山深い山頂だ。

やがて、ルートは荒れ気味となり倒れた竹に道が遮られるような場所も出てくるが構わず進めば下に出発点の梨沢の集落が見えてくる。最後は、畑に出て電流流れる柵を跨いであぜ道を少し歩けば車をデポした梨沢区公民館はすぐそこだった。4～5時間のハイキングだったが正月の運動不足の体にはちょうど良い房総の探検ハイキングだった。

帰りは少し遠回りだったが長狭街道沿いのスイセン畑を楽しみ、さらに保田漁港の番屋に立ち寄り、海の幸を満喫。ご一緒したメンバーの皆さん、有り難うございました。当初のキャッチコピー通りの素敵なハイキングでした。

■写真上左　巨木の森を歩く。
■写真上右　マテバシーの純林を歩く。
■写真中左　見つけるのが難しい三浦三良山
■写真中右　長狭街道沿いのスイセン畑。
■写真下　　残っていた紅葉。